

平成 21 年度第 3 回宮前区区民会議

平成 21 年 11 月 13 日(金) 18 時 00 分～20 時 30 分

宮前区役所 4 階 大会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

- (1) 区民会議からの提案に対する取組について
- (2) 専門部会の審議結果について
 - ア 公園・地域づくり部会報告
 - イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会報告
- (3) 今後のスケジュールについて
- (4) 平成 21 年度宮前区区民会議フォーラムについて

3 報 告

- (1) 平成 22 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決に向けた取組（案）について

4 その他

《配布資料》

- 資料 1 宮前区区民会議からの提案に対する取組状況
- 資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会報告
- 資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会報告
- 資料 4 宮前区区民会議・今後のスケジュール（案）
- 資料 5 平成 21 年度宮前区区民会議フォーラム（案）
- 資料 6 平成 22 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び宮前区・区の課題解決に向けた取組（案）

第2期宮前区区民会議委員

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	公園	宝				
1	◎			★ <small>ながの</small> 永野 <small>まさる</small> 勝	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		<small>たなべ</small> 田邊 <small>やすあき</small> 保昭	団体推薦	②福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3		○		<small>よしだ</small> 吉田 <small>こうたろう</small> 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4		○		<small>くぼ</small> 久保 <small>ひろこ</small> 浩子	団体推薦	③子育て・教育	宮前区こども支援関係者連絡会
5		○		<small>もちだ</small> 持田 <small>まさみ</small> 正美	団体推薦		宮前区地域教育会議
6			○	<small>かわい</small> 河井 <small>あきこ</small> 明子	団体推薦	④自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 世話人会
7			○	<small>たにやま</small> 谷山 <small>やすはる</small> 安治	団体推薦	⑤産業・まちの活力	宮前区商店街連合会
8			○	<small>すずき</small> 鈴木 <small>かずこ</small> 和子	団体推薦	⑥文化・観光	宮前区観光協会
9		○		<small>よしおか</small> 吉岡 <small>きよし</small> 清	団体推薦	⑦地域組織・ まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区)
10		○		<small>ふくもと</small> 福本 <small>たかし</small> 尚	団体推薦		宮前区全町内会・自治会連合会(宮前地区)
11	○		○	<small>まつい</small> 松井 <small>りゅういち</small> 隆一	団体推薦	⑧地域特性	宮前区まちづくり協議会
12	○	◎		<small>さとう</small> 佐藤 <small>としえ</small> 利枝	公 募		
13			○	<small>つねかわ</small> 恒川 <small>やすお</small> 康夫	公 募		
14	○			☆ <small>うがじん</small> 宇賀神 <small>やすし</small> 泰志	区長推薦		第1期区民会議 明日のコミュニティ部会長 (宮前区自主防災連絡協議会)
15		○		<small>すずき</small> 鈴木 <small>けいこ</small> 恵子	区長推薦		第1期区民会議 高齢者福祉部会長 (在宅介護支援ボランティアグループ すずの会)
16	○		◎	<small>たかぎ</small> 高木 <small>かずひろ</small> 一弘	区長推薦		飛森谷戸の自然を守る会
17			○	<small>ちば</small> 千葉 <small>まさゆき</small> 将行	区長推薦		(株)フューチャーリンクネットワーク
18	○			☆ <small>まえだ</small> 前田 <small>まさこ</small> 正子	区長推薦		(財)横浜市国際交流協会
19		○		<small>もくだい</small> 目代 <small>ゆみこ</small> 由美子	区長推薦		第1期区民会議 子ども部会長 (宮前区民生委員・児童委員協議会)
20			○	<small>わたなべ</small> 渡辺 <small>よしお</small> 良雄	区長推薦		第1期区民会議 地域防災部会長 (宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区))

★……委員長 ☆……副委員長

◎……部会長 ○……部会メンバー

【参与】

市議会議員

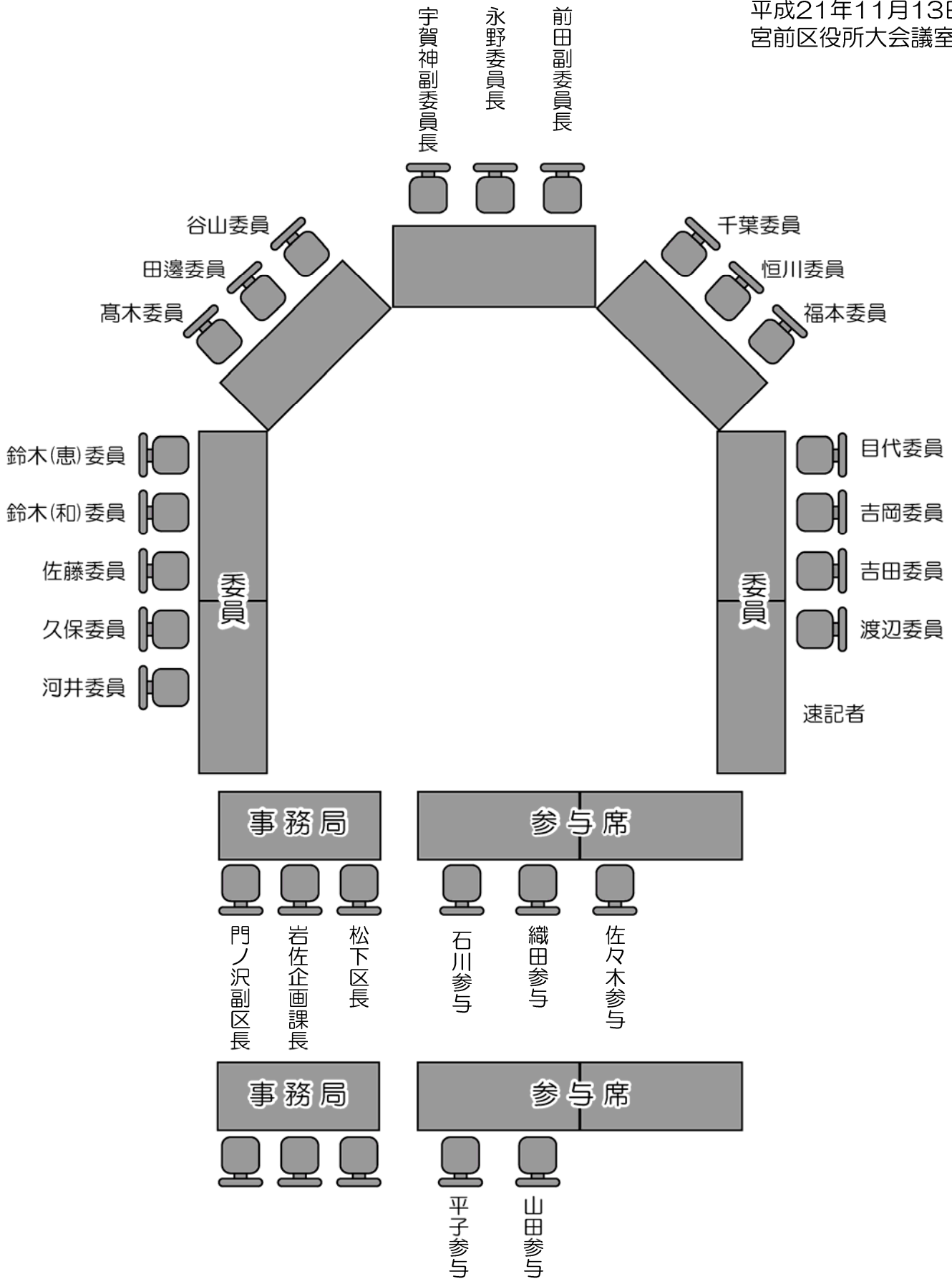
浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

持田 文男

平成21年度 第3回宮前区区民会議座席表

平成21年11月13日
宮前区役所大会議室



第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

※ 前回区民会議（8/4）から新たに進捗等のあったものについてのみ記載してあります。

■高齢者福祉（18 年度提案）

提案① ご近所サークルの形成

◎わたしの町のすこやか活動

- 9 月 25 日 宮前すこやか連絡会。10 グループ活動紹介。今年度の合同研修会について協議。
10 月 23 日 東有馬きずなの会「秋まつり」。歌・体操・認知症の寸劇など各グループで発表。

提案② 地域ぐるみの散歩活動などの実施

◎公園体操

- 8 月以降、新たに 4 ヶ所で取り組みスタート。
その他、以前から行われていたが新たに活動が公表された会場も含め、現在、区内 38 会場で実施。
5 月～ 宮崎第 3 公園 6 月～ 平 4 丁目公園・平 6 丁目個人宅駐車場
8 月～ 平 3 丁目個人宅駐車場 9 月～ 鷺沼公園・宮前美しの森公園
10 月～ 鷺ヶ峰公園

○公園体操マップ

- 10 月 5 日 第 4 回マップ作成検討会
公園体操の情報収集、マップ掲載内容案を最終調整中。
11 月中 今年度内のマップ発行に向け、最終検討会を開催予定

○オリジナル体操「風の中で」

20 年度に運動普及推進員が中心となって、健康運動指導士、音楽家の協力のもと作成した宮前区オリジナルストレッチ体操。現在 CD 化中。公園体操などで使用し広めていく予定。

提案④ 高齢者の学校給食体験の実施

●介護予防事業

- 各種団体での講話
 - 一人暮らし老人会会食会 ・8 月 7 日 宮崎食事会 ・9 月 17 日 白幡台食事会
 - 町内会・自治会 ・8 月 21 日 初山団地自治会 ・8 月 28 日 五所塚町内会

■子育て支援（18 年度提案）

提案② 町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信

○子育てかわら版

- 11 月 子育てかわら版第 14 号発行。(20,000 部)
区内の子育て支援施設などの紹介
町内会・自治会のほか行政機関、保育園、幼稚園、子育て支援センター、
医療機関、郵便局、社協などへ配布。

提案⑧ 子育て関連支援組織による協議会（ネットワーク）の立上げと運営

○宮前区子ども・子育てネットワーク会議

- 9 月 18 日 宮前区子ども・子育てネットワーク会議
会議の趣旨説明、各団体の紹介や意見・情報交換
10 月 14 日 子育て支援関係者連絡会（定例会）
子育てかわら版の校正・子育てサロン、赤ちゃん広場等交流の開催に向けて

提案⑨ 地域などへの出前講座の実施

○親と子の子育て応援セミナー

- 前期（5 月～11 月 7 回連続講座） 定員 35 組、申込 52 組
 - 第 5 回 9 月 10 日 宮前区の子育て、グループ活動 ～先輩ママと交流～ 27 組
- 後期（9 月～12 月 7 回連続講座） 定員 35 組、申込 72 組
 - 第 1 回 9 月 3 日 オリエンテーション 知ろうわがまち宮前区 28 組
 - 第 2 回 9 月 16 日 子どもの育ち ～年齢による発達の特徴を知る～ 30 組
 - 第 3 回 10 月 1 日 宮前区の子育て、グループ活動 ～先輩ママと交流～ 28 組

○出前講座

- 9 月 14 日 生活とリズムについて 乳幼児と保護者 10 組 20 人（子育て支援センターすがお）

■地域コミュニティ（19 年度提案）

提案① 小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティの促進

○地域のイベントカレンダー「歳時記みやまえ」

- 区内各地のお祭り・イベントの月間カレンダーを作成し、町内会・自治会を通じ回覧。
9～11 月 例大祭など秋のイベント情報を幅広く掲載

提案② 「地域のたまり場」の創出

○地域交流スペース

商店街における地域のたまり場。鷺沼地区の町内会館で毎週火曜開催

・いきいき健康マージャン

8 月	4 日	11 日	18 日	25 日	9 月	1 日	8 日	15 日	22 日	29 日	10 月	6 日	13 日	20 日	27 日
	36 人	27 人	33 人	19 人		40 人	33 人	20 人	17 人	25 人		35 人	33 人	30 人	18 人

・健康づくり講座

- 8 月 25 日 認知症予防講座・脳の健康度チェック① 21 人（講師：区役所保健師）
9 月 15 日 脳の健康度チェック②・座談会 20 人（講師：区役所保健師）
10 月 27 日 料理で美味しく脳トレ・献立づくりゲーム 15 人（講師：栄養士みやまえ応援団）

■地域防災（19 年度提案）

提案① （仮称）宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成

○防災ニュース

- 9 月 防災ニュース第 5 号発行。(7,000 部)
電気・ガス・水道などのライフラインについて

提案② 防災出前講座の拡充

○宮前区防災出前講座の広報

- 「赤ちゃん広場」に職員が出向き、防災ワンポイントレッスンをを行い、出前講座の広報を行った。
10 月 13 日 区役所保健福祉センター
20 日 有馬こども文化センター
26 日 宮前平こども文化センター
11 月 13 日 宮崎こども文化センター
防災フェア（1 月 21 日開催予定）にて、危機管理室による防災出前講座を実施するとともに、チラシ配布などの広報を行う予定。

【分類】

- ◎ 地域主体の活動を行政が支援しているもので、区民会議提案の趣旨に合致するもの（提案を受けて実施しているものも含む）
- 区民会議提案を受けて、行政が新規または拡充して実施している事業
- 行政が従来から実施している事業などで、区民会議提案の趣旨に合致するもの

宮前区区民会議
公園・地域づくり部会 報告書

平成 21 年 11 月 13 日

1 はじめに

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会は、2008年6月の部会発足以来、2009年10月までに3ヶ月に2回のペースで合計13回の会議を重ねてきました。

第1期では、「高齢者福祉」「子育て支援」「地域防災」など地域の様々な課題に対処するためには、地域コミュニティが機能していることが非常に重要であるということが確認されました。

第2期では、こうした第1期の審議内容を踏まえ「地域コミュニティの活性化」を大きなテーマとして設定し、この部会では「公園を地域コミュニティの場として活用していく」ことを目指すべき方向性として、1年半にわたり議論を行ってきました。

公園は、老若男女誰もが気軽に利用できるオープンスペースであり、地域コミュニティを活性化させるツールとして大きな可能性を感じさせるものです。その反面、この「誰もが使える」という特徴があるゆえに、様々な面で地域での利害対立や軋轢を生み、結果として「禁止事項ばかりが多い」「使いにくい」という状況に陥っている面もあると考えられます。

部会では、こうした公園の持つ特徴や現在置かれている状況を客観的に把握し、理想とする公園像と解決すべき課題を明らかにして、公園を活用して地域コミュニティを活性化させるための具体的な課題解決策を審議し、このたび次の3つの提案をまとめるに至りました。

【公園・地域づくり部会からの提案】

- 提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～
- 提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！
- 提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～
- 提案④：公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援

提案の詳細は後述しますが、提案に至るまでの現状把握・課題の設定などを含めて、これまで審議内容を次のとおり報告します。

2 宮前区の公園の現状と取組

(1) 公園の有する機能

宮前区の公園に限ったことではありませんが、一般的に公園は、誰もが気軽に利用できる緑豊かなオープンスペースであり、レクリエーション・憩いの場といった機能に加え、防災拠点にもなるなど多様な機能を有しています。例えば、第1期の提案にあった公園体操などは、当初8箇所だったのが現在は30箇所以上に増え、高齢者の健康づくりと地域コミュニティの活性化に大きく寄与しています。

このように、公園は住民が集い交流することのできる地域コミュニティの拠点となりうる可能性を持っていると考えられます。

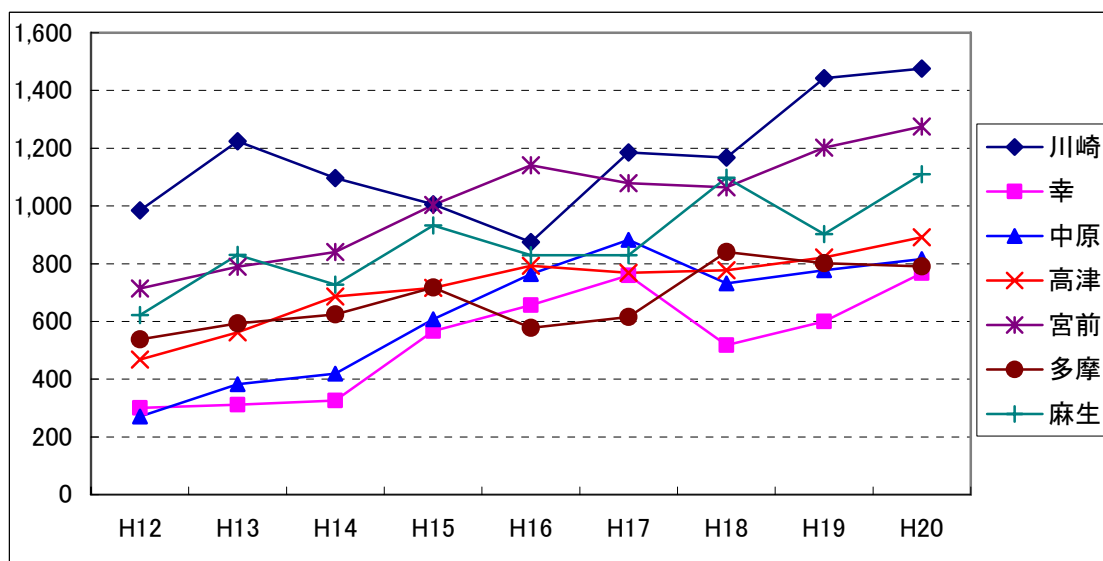
(2) 公園(都市公園・市営公園)の整備状況

平成 21 年 3 月現在の宮前区の公園の整備状況は次のとおりとなっています。川崎市全体では麻生区に次いで 2 番目に公園の多い区となっています。

区分	公園数
街区公園	176
近隣公園	6
その他	14
合計	196

(3) 増加する苦情

主に、増加する公園に見合う維持管理経費が十分に確保されなかったことなどが原因で、樹木の剪定や遊具やトイレ等の公園施設の故障などに関して、公園事務所に寄せられる苦情が増える傾向にあります。



このほか、ごみの不法投棄やペットの扱いのほか、青少年の夜のたまり場になってしまっている公園もあるなど、マナーや倫理上の問題もあり、せっかくの公園が迷惑施設になってしまっている側面もあります。

(4) 地域が主体となった管理運営

川崎市緑の基本計画(平成 20 年 3 月改定)では、「協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築」を基本方針の 1 つとして掲げています。

地域住民の身近な公園については、地域が主体となって管理・運営することが基本的な考え方とされ、それを具体化するものとして、公園・緑地管理運営協議会の制度が緑の基本計画の改定に先立ち、平成 17 年度からスタートしています。

この公園・緑地管理運営協議会は、身近な公園を地域のコミュニティ拠点としていく

ことを大きな目的として、これまでの愛護会が担っていた除草・清掃の役割に加え、中低木の剪定など、より高度な維持管理を地域で担うほか、公園の利用方法などの運営面においても、その調整機能を地域が担うことができるようになりました。

平成21年10月現在、宮前区では62箇所公園・緑地管理運営協議会が設立されています。

3 解決すべき課題など

(1) 理想とする公園像について

現在置かれている公園の状況と理想とする公園像とのギャップを明らかにし、課題解決によって目指す方向性をより明確にするため、理想とする公園像について意見交換し、イメージの共有を図りました。

- **望ましい施設…トイレ、ベンチ、看板など、地域のニーズや実情に合わせて**
 - ・ 公園に必要な施設として、トイレ・ベンチ・看板・時計・遊具など、公園の立地、利用者の構成やニーズ、地域の実情に合わせた施設が配置されている。
 - ・ どのような施設が必要かを自分たちで検討できるしくみができている。
- **維持管理・運営のあり方**
 - ・ 多様な世代が無理なく主体的に
 - 子どもから高齢者まで、地域の多様な世代が無理なく主体的に関われるしくみがある。
 - ・ 利用者が維持管理・ルールづくり
 - 利用者自らが、維持管理の方法や利用上のルールづくり、企画運営に関われるしくみがある。
- **公園の使われ方（コミュニティ面）**
 - ・ 多世代が利用し顔見知りの関係に
 - 子どもから高齢者まで、地域の多様な世代に利用され、公園での出会いを通して地域内でお互いが顔見知りの関係を築いている。
 - ・ 地域のイベント会場として
 - お祭りや盆踊りを始め、地域の様々なイベント会場として公園が利用されることで、自然に地域住民が集まり交流する場となっている。

(2) 解決すべき課題について

理想とする公園像と現状とのギャップを踏まえ、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

- **課題①：維持管理について**
 - ・ 担い手の不足・固定化・高齢化
 - 公園の維持管理活動に関わる人が少なく、また、現在関わっている人材も固定化、高齢化している現状があり、より多くの人に関わるしかけが必要である。
 - ・ 公園緑地管理運営協議会の存在・役割の周知・普及
 - 区民会議としては、公園緑地管理運営協議会の存在や役割が地域に広く知ら

れていない現状があるのではと感じている。また、活動が清掃や樹木の剪定等の維持管理面にとどまっている団体が多く、要綱に含まれている公園の運営など地域のコミュニティづくりにまで至っている活動団体が少ないのではないかとと思われる。また、そうした活動が可能であることがあまり知られていない現状もあると思われ、公園緑地管理運営協議会の存在や本来の役割を区民に周知・普及して、より主体的な活動を広げていくことが求められる。

■ 課題②：公園利用について

・ 利用層の偏り・固定化

公園を利用する人が限られている傾向があり、公園を地域コミュニティの拠点とするにはより多様な人が気軽に公園に集い利用することが大切である。

・ コミュニティ価値の情報発信不足

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。公園を地域コミュニティの拠点として位置付けるために、公園の必要性やまちづくりにおける重要性について、もっとアピールしていくことが必要である。

・ 利用者マナー

一部の利用者に見られる公園の利用マナーの改善が求められる。公園の価値を地域で認識・共有し、公園に愛着を持つことが進めば、利用マナーが自然に改善されていくと考えられる。

4 公園を活用した地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

● 提案①：公園を知ってもらおう！～公園内に掲示板などを設置～

【趣旨・目的】

- ・ 公園では地域の色々な団体が主体となって、公園・緑地管理運営協議会の活動のほか、公園体操や自主保育など多様な活動を行っています。
- ・ こうした公園内での活動・イベントを広く知ってもらい、より多くの参加を促し、最終的には地域コミュニティが活性化することを目指します。

【実施方法/実施主体】

■ 活動内容をPRする掲示板の設置

- ・ 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を団体からの申請に応じて、宮前区役所が公園管理者の許可を受けた上で設置します。
- ・ 宮前区役所と団体とで管理協定を締結します。
- ・ 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っていると同時に、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体が望ましいため、公園・緑地管理運営協議会に限定します。

■ 活動内容をPRするプレートの設置

- ・ 公園・緑地管理運営協議会以外で、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化

に資する個別の活動を行なっている団体に対しては、掲示板ではなく活動内容を記したプラスチックのプレートなどを制作し、公園事務所の許可を受けた上でフェンス等に掲示できるようにします。

※ 提案②の「冒険あそび場」の実施団体については、その支援のメニューとして「掲示板の設置」を用意します。

※ 掲示板やプレートを設置する際には、景観・美観を損ねることのないよう、周辺環境との調和に配慮することとします。

【実施時期】

- ・ 実施時期については、平成 22 年度からの実施が望ましいものとします。

● 提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

【趣旨・目的】

- ・ 現代の子どもには、その成長にとって必要な**時間・空間・仲間**の「サンマ(3つの間)」がないといわれています。
- ・ そこで、公園というオープンスペースを活用し「冒険あそび場」を地域が主体となって実施することで、次世代育成の場の確保を目指します。
- ・ また、「冒険あそび場」への地域住民が参加を促進し、本部会の趣旨である地域コミュニティの活性化も目指します。

《 冒険あそび場とは？ 》

部会では、従来のプレイパークの概念にとらわれず、宮前区らしいプレイパークを目指すことを企図して「冒険あそび場」という言葉を用いることとしました。

プレイパークと呼ばれる活動は、一般的には次のような内容となっていますが、地域の特性や実情に応じた活動内容としていく必要があります。

【概要】

■冒険遊び場（プレイパーク）

「プレイリーダー」と呼ばれる見守り役の大人のもと、子どもたちが自由な発想で遊びを創り出し、やりたいことを実現する場です。

■自分の責任で自由に遊ぶ

小さな怪我などのリスクを自分で負担することを前提とします。

火を使う遊び・泥遊び・工具を使った遊具や秘密基地づくりなど

【効果】

■地域コミュニティの活性化

活動に地域の大人が関わることで、地域コミュニティの活性化につながります。

→特に若い父親世代の参加が期待できます。

■次世代育成 ★宮前区は子ども(0~14歳)の数(32千人)・割合(15.3%)ともに7区最多

与えられた遊具だけでなく、思いきり遊べる外遊びの環境を確保します。

小さな怪我を経験することで、「**大きな怪我や危険から身を守る術**」を身につけます。

【実施内容】

- ・ 「冒険あそび場」の実施には、地域で利害の対立する可能性もあるため、宮前区の地域特性に合ったルールを策定する必要があります。
- ・ しかし、区民会議として具体的なルールを作ることは難しく、実際に活動に携わる団体と行政とが協働でルール作りを行う必要があります。
- ・ このため、平成 22 年度に「(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会」を設け、「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討を行います。
- ・ ルール作りにおいて実際の活動の観点から検討するために、既存の団体や冒険あそび場に近い取組を行っている団体に、モデル団体として引き受けてもらうことを依頼します。
- ・ このほか、冒険あそび場をもっと広げることを目的として、実施を希望する地域団体を対象に、既存の実施団体に依頼して出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会の確保を図ります。

【(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会の概要】

- ・ 市民が行うプレイパーク活動を積極的に支援するためのルールや行政支援のあり方を、区役所・関係行政機関・既存活動団体・子育て支援団体・青少年育成関係者・公募市民等で検討します。

〈委員会への参加を呼びかける団体〉

既存団体 (ポレポレ/グリーンフォーラム 21 構成団体/野川こ文プレイパーク (自主学童保育ささのはクラブ)) /地域で子育てを考えよう連絡会/青少年指導員連絡協議会/運動普及推進員連絡協議会/民生委員・児童委員協議会/こども会連合会/ボーイスカウト・ガールスカウト/地域教育会議 (順不同)

〈行政機関〉

区役所(企画課/地域振興課/こども支援室/道路公園センター)

● 提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～**【趣旨・目的】**

- ・ 公園は誰もが気軽に使えるオープンスペースですが、中にはあまり使われていない公園もあります。
- ・ 公園を地域コミュニティの核としていくために、地域住民にもっと公園に目を向けてもらう必要があります。

【実施内容】

- ・ 毎年、桜の咲く 4 月と落ち葉の季節の 11 月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけます。
- ・ 現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行し、各町内会・自治会に回覧を依頼します。
- ・ 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえばーたろう」でも公園でのイベント情報を発信します。

- ・ 「宮前区公園の日」の呼びかけは、区民会議委員が所属している各団体や、公園・緑地管理運営協議会や愛護会などに委員や区役所が直接行うほか、「みやまえ公園イベント情報」や「みやまえぼーたろう」上でも行います。

● **提案④：公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援**

【趣旨・目的】

- ・ 公園・緑地管理運営協議会は、維持管理だけでなく地域コミュニティの担い手としての役割も期待されています。
- ・ しかしながら、実際には地域コミュニティの担い手としての意識はあまり強くなく（設立当初はそう認識されていたとしても、年数が経つと忘れられてしまう）、専ら維持管理を行う組織として認識されている傾向が見られるため、その役割を認知してもらう継続的な取組が必要です。

【実施内容】

- ・ 公園・緑地管理運営協議会については、行政側では、協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、研修などを通じて地域コミュニティの担い手であるという協議会の趣旨を継続的にお知らせすることや、区民会議での審議経過を伝えることなどから始めるべきと考えます。
- ・ 現在、管理運営協議会が設立されている公園には、「〇〇公園・緑地管理運営協議会が管理運営しています」といった表示があるだけなので、公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等を明示した看板を掲示することが望ましいと考えます。
- ・ このほか、市民の側では区民会議委員が中心となって、地域の協議会と積極的に関わり、サポートしていくことが重要と考えます。

5 会議開催経過

公園・地域づくり部会では、合計 13 回の部会を開催しました。会議の開催経過及び主な議論内容は次のとおりになっています。

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 平成20年 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる
 全体会 5月23日 「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
 6月16日 具体的な審議テーマについて
 宮前区の公園緑地の現状と課題について

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針
 →公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱えているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について
 7月7日 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】

審議の目的を共有



現状と課題の把握



課題の原因分析



課題解決策の審議

■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告
 →今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す
 →理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（8～10月）

区民会議
全体会

平成20年
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について
理想とする公園像について

■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理 【配布資料】

- ・別紙 議論ペーパーのとおり
- ・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認
- ・議論ペーパー
- ・公園の良い点・悪い点一覧表

■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使い方 の観点から議論）

①望ましい施設

- ・トイシ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

②維持管理のあり方

- ・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

③地域での使い方

- ・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

➔ 「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年
10月10日

公園での活動に関する取組事例について
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

- ・自治会と老人会で組織。
- ・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など
- ・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第3回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

- ・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント
- ・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど
- ・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年
10月27日

理想とする公園像について
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

【配布資料】

■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

- ・公園・地域づくり部会（第4回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（11～1月）

区民会議
全体会

平成20年
11月16日

10月までの審議状況を報告

第6回部会

平成20年
12月9日

地域の課題の具体的解決策について

議論ペーパーに基づき、解決すべき課題を踏まえ、具体的な課題解決策について検討

■公園の魅力アピール

- ・公園内に掲示板などを設置し、イベント情報などを発信してはどうか。
- ・この部会から公園の魅力をもっとPRしてはどうか。
- ・公園をテーマにした集いを開催することで、公園に関する情報交換、事例報告などができるとよい。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第5回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園を活用したコミュニティづくりに向けた提案

■コミュニティのきっかけづくり

- ・既存の団体が行っている活動の中には、コミュニティの視点を取り込めるものがあるので、既存の活動とコミュニティを一体化するための方法を検討する必要がある。
- ・あまり利用されていない公園にどうやったら人が興味を持って来るようになるのか、検討する必要がある。

■維持管理・運営の担い手・組織など

- ・（公園緑地管理運営協議会という制度があることを前提として）公園の維持管理だけでなく企画を行う組織の確立が必要である。
- ・公園に携わる地域の人達の情報共有・交換のために、全区的な集まりがあることが望ましい。
- ・利用者間の調整やルールは、法令の範囲内で地域の実情に応じて公園を利用する人が決めることが望ましい。
- ・「あるべき論」よりも地域にとってのメリットを念頭に置く必要がある。

第7回部会

平成21年
1月20日

地域の課題の具体的解決策について
区民会議フォーラムについて

■議論の視点について

- ・議論の視点としては、「公園の日常的な利用・イベントでの活用」と、「利用調整等を行う組織の確立」などがある。
- ・これまでは、「利用調整等を行う組織の確立」を主に議論してきたが、まず公園を使ってもらわなければ何事も進まない。
- ・このため、まず「公園の日常的な利用・イベントでの活用」を中心に議論を進めていくこととした。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第6回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- ・子育て自主活動グループからみた現状と提案
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて（案）

■コミュニティのきっかけづくり

- ・具体的な手法として、スタンプラリー、水遊び、体操などの提案が出された。
- ・大きなイベントだけでなく、日常的に「何か」が行われていることが、結果として公園利用の促進につながり、コーディネート者の育成や管理運営協議会への発展へとつながるのではないかと。

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、自主保育活動をしている「ポレボレ」に参加を依頼することに決定。
- ・分科会での意見交換の視点として次の点があげられた
 - ①公園でやりたいこと
 - ②公園デビューに必要なこと
 - ③理想の公園となるのに必要なこと

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（2～4月）

平成二十一年度

第8回部会

平成21年
3月5日

区民会議フォーラムについて
具体的な課題解決策について～公園の魅力をアピールする方法～

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、役割分担について決定。
- ・各団体に対して、口コミで参加を呼びかけることを確認。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（公園・地域づくり）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・公園地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料

■掲示板の設置について

- ・掲示板の設置に当たっては、管理する組織が必要である。
- ・公園に設置する掲示板は、一般的な行政や自治会の情報ではなく、公園のイベント、管理日程など、コミュニティづくりに寄与する情報を掲示する。
- ・掲示板の制作に公園で剪定した木を使用するなど、掲示板の設置に利用者が参加することで、掲示板の設置過程がコミュニティ形成につながる。

区民会議フォーラム

平成21年
3月15日

平成20年度検討内容の報告

委員参与との
意見交換会

平成21年
4月20日

中間報告等に関する委員との意見交換

平成21年度
第1回部会

平成21年
4月22日

今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。
- ・実現に結びつけるには、提案内容に加え、どのように文章化するかが重要である。
- ・文章表現については、11月以後も引き続き検討する。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・公園・地域づくりアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

■掲示板の設置について

- ・公園で実施されるさまざまな活動を通して、コミュニティを活性化させることを目的とした情報を発信するために、掲示板を設置する。
- ・掲示板の設置に当たっては、維持管理する主体を明確にしておく必要がある。
- ・公園を利用する団体が、掲示板の設置、利用を通して連携ができ、公園の維持管理への参加に結びつくと良い。
- ・掲示板以外にも、ホームページなどを情報発信手段として活用する。

■公園に目を向けてもらうためのイベントの実施について

- ・公園の日を設定し、公園に目を向けてもらうためのイベントを開催する。
- ・ディスカバーウォーク、スタンプラリー、写真コンテスト、公園体操など、既存の活動とうまく結びつける。
- ・公園に目を向けてもらうためのイベントの実施にプレーパークが位置づけられているが、宮前区ならではの支援の仕組みが確立できると目玉になる可能性があるため、別立てしてもよい。

平成二十一年度

宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過 (5月～7月)

区民会議
全体会

平成21年
5月29日

部会検討経過の報告

第2回部会

平成21年
6月23日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【プレイパークの必要性】

- ・プレイパークは、単なる子どもの遊び場ではなく、新しい地域コミュニティの拠点である。

【プレイパークの進め方】

- ・プレイパークのルールづくりを進める。
(ルールの必要性を提案。策定については別組織で行う。)
- ・区内のモデルとなる受け皿を設定する。

【宮前区版プレイパークの提案】

- ・単なる子どもの遊び場ではなく、公園を活用した地域コミュニティの活性化の活動(例：餅つき等)ができる仕組みを作る。
- ・プレイパークを踏まえた新たなコンセプト、名称が打ち出せると良い。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・プレイパークについて

第3回部会

平成21年
7月28日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【宮前区公園遊びの日の設定、日常的に公園を利用できる仕掛けづくり】

- ・公園に目を向け、公園遊びを広めるためのイベントやプレイリアカーなどについて、各団体に持ち帰り、具体的にどんなことが実現可能なのか、解決策の実現に向け検討を進める。

例) 統一美化デーに合わせた開催案

美化活動の終了後、午後に公園でイベントを行うなど

【宮前区版プレイパークの推進】

- ・宮前区版プレイパークの実現に向けたルールづくり
区の要綱策定/プレイリーダー養成支援/新たな活動の普及促進

【維持管理・運営の担い手・組織など】

- ・公園の維持管理・運営の担い手は、一義的には公園緑地管理運営協議会の役割であるが、その他のグループであっても個別の活動については運営の担い手になりうる。
- ・活動を通じて、地域で主体的に動ける担い手を育てていく。関わってくれた市民を担い手とするために「背中を押してあげる」手法を検討する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・第2回部会 確認事項(別紙)
- ・ディスカバーウォーク(参考)
- ・フォトコンテスト(参考)

平成二十一年度

宮前区区民会議 公園地域づくり部会 検討経過
(8月～11月)

区民会議
全体会

平成21年
8月4日

第1期提案の取組状況
部会検討経過の報告

第4回部会

平成21年
9月3日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

【宮前区版 冒険遊び場】

- ・宮前区版の冒険遊び場を積極的に支援するためのルールを、支援検討委員会を組織して策定する。
- ・委員会メンバーは、既存団体や子育て・青少年団体、行政などとする。
- ・各公園の使い方のルールは、実際の公園の利用者や管理組織がそれぞれ決める。

【宮前区公園の日】

- ・「公園の日」を設定し、イベントなどの開催を地域に呼びかける。既存の活動を上手につないだり重ねたりしながら、公園を意識したイベントを開催し、公園に目を向けてもらえるようにする。
- ・「歳時記みやまえ」をモデルに、各公園で行われている活動を紹介する公園イベント情報誌を発行する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・課題解決策案

第5回部会

平成21年
10月13日

部会報告書（案）について

■具体的な課題解決策について

提案①：公園を知ってもらおう～公園内に掲示板などを設置～

- ・公園緑地管理運営協議会以外に、愛護会の活動を紹介し、活動をサポートする。
- ・掲示板の設置に当たっては、景観・美観に配慮する。

提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！

- ・モデル公園については、冒険あそび場支援検討委員会の中で決定する。
- ・検討委員会には、公募委員を加える。

提案③：もっと公園で遊ぼう～宮前区公園の日の設定～

- ・「遊ぼう」では子どもだけの印象がある。子どもから大人までが公園を“意識化”できるタイトルとする。
- ・4月と11月を宮前区公園月間とする。それ以外の月のイベント等については、歳時記みやまえ公園版でおぎなう。

※公園・緑地管理運営協議会について

- ・提案④として取上げる。ただし、担い手が区民主体ではないので、表現方法を検討する。

【配布資料】

- ・宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 報告書（案）

区民会議
全体会

平成21年
11月13日

宮前区区民会議第2期
報告書作成に向けた部会報告の検討

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論のまとめ

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないか

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組 (公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。
うち、公園緑地管理運営協議会：51 公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られてない。

◆公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策

◆コミュニティのきっかけづくり

提案①：公園を知ってもらおう！
～公園内に掲示板などを設置～

- 活動内容をPRする掲示板の設置
- ・日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を設置。
- ・設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体に限定
- 活動内容をPRするプレートの設置
- ・その他、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体については、掲示板ではなく活動内容を記したプラスチックのプレートなどを制作し、フェンス等に掲示

◆公園の利用促進に向けて公園の魅力をアピール

提案②：「冒険あそび場」をひろめよう！
・「(仮称)宮前区冒険あそび場支援検討委員会」の設置し「冒険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討

・既存の実施団体に依頼して、実施を希望する地域団体に対して、出張「冒険あそび場」を実施し、「冒険あそび場」が体験できる機会を確保

提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定
・毎年、4月と11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけ

・現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行

・同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぽーたろう」でも公園でのイベント情報を発信

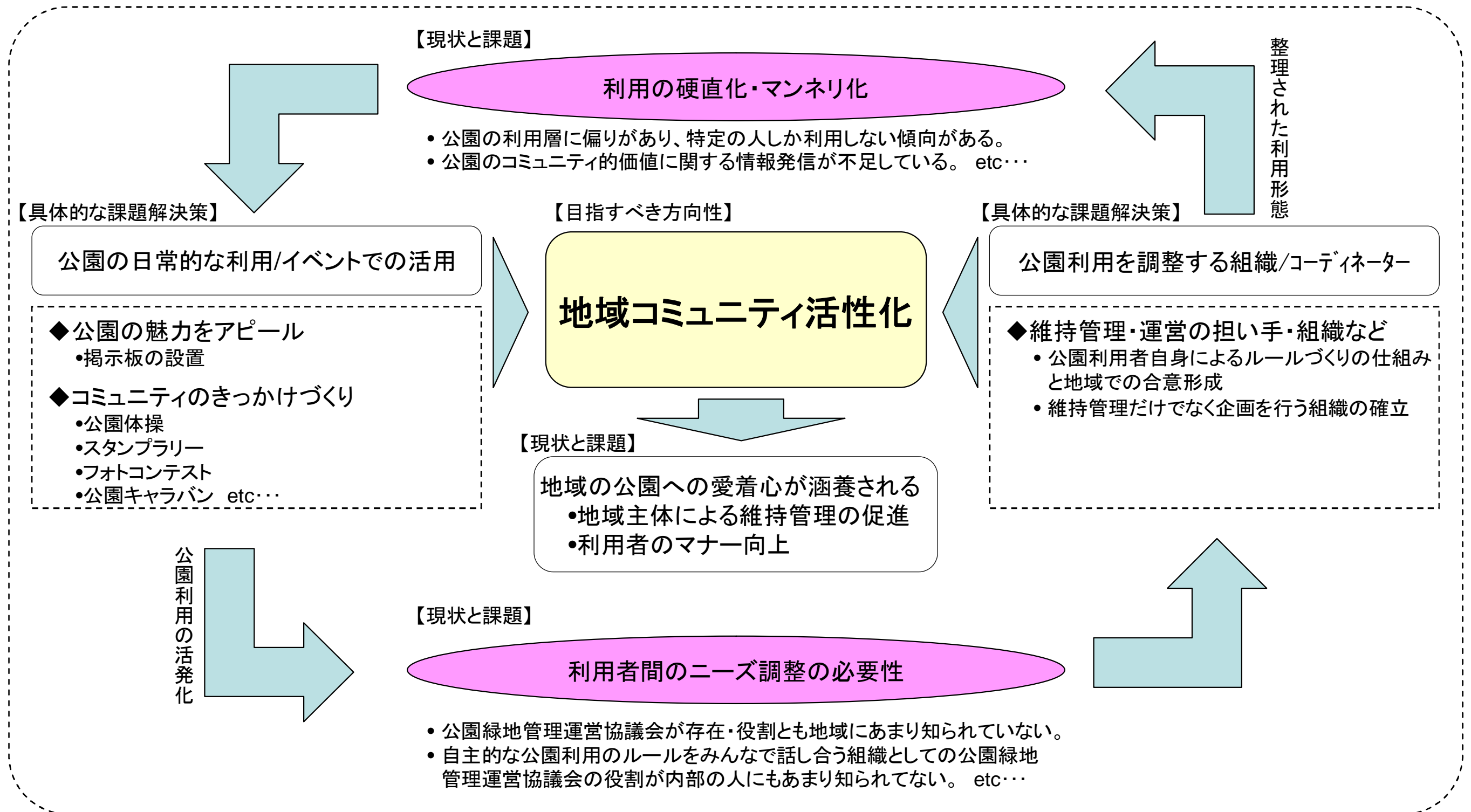
◆維持管理・運営の担い手・組織など

提案④：公園・緑地管理運営協議会活性化のための支援
・協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、その趣旨を継続して周知

・公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等を明示した看板を掲示

・区民も協議会と積極的に関わってサポート

公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料



宮前区区民会議

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

報告書

平成 21 年 11 月 13 日

1 はじめに

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会は、2008年6月の部会発足以来、2009年10月まで3ヶ月に2回のペースで合計12回の会議を重ねてきました。

第1期では、「高齢者福祉」「子育て支援」「地域防災」など地域の様々な課題に対処するためには、地域コミュニティが機能していることが非常に重要であるということが確認されました。

第2期では、こうした第1期の審議内容を踏まえ「地域コミュニティの活性化」を大きなテーマとして設定し、この部会では「**地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る**」ことを目指すべき方向性として、1年半にわたり議論を行ってきました。

高度成長期以降に都心部のベッドタウンとして発展してきた経緯を持つ宮前区は、農村としての営みは遥か昔からありましたが、都市としての歴史は浅いため、多くの区民は居住を開始してからまだ一世代・二世目なのではないでしょうか。そのためか、「宮前区と云えば？」という問いに対して区民の誰もが答えられる共通の「宝物（顔）」と言えるものは、残念ながら現状ではなかなか思い浮かばないのではないかと思います。

また、こうした状況は、地域のことにあまり関心のない「川崎都民」と呼ばれる区民の多い宮前区の地域特性とも密接に関わっていると考えられます。「川崎都民」が多いのは都心部のベッドタウンとして宮前区が発展してきた経緯を考えれば仕方のないことですが、部会では、このような点も前提として受け入れながら、宮前区に住まう人々がいかにして地域への愛着を育み、地域コミュニティを活性化させていくか、という観点から具体的な課題解決策を審議し、このたび次の提案をまとめるに至りました。

【宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会からの提案】

● 提案：宮前区のカルタをつくろう！

提案の詳細は後述しますが、提案に至るまでの現状把握・課題の設定などを含めて、これまでの審議内容を次のとおり報告します。

2 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

(1) 地域資源（宝物）に関する現状

宮前区内には、歴史文化・自然・市民活動・都市農業など多くの魅力的な資源がありますが、その大半は区民にあまり知られていません。

これは、昭和41年の田園都市線の長津田駅までの延伸に伴って順次沿線開発が始まったという宮前区の歴史的経緯に起因していると考えられます。都心部のベッドタウンとして発展を遂げてきた宮前区は、都市としての歴史もまだ40年余であり、また、過去に

社宅などが多かった関係で通勤族が多く、いわゆる「川崎都民」と呼ばれる区民が数多く住んでいるという特徴があります。

このため、宮前区は極端に言えば「腰掛けで住むところ」「眠るためだけに帰るところ」といった場所となってしまう、生活をする上で地域のことにさほど関心を払う必要がありませんでした。例えば、住宅地のすぐそばで展開されている都市農業では、「かわさきそだち」にも指定されている質の良い農産物がたくさんありますが、区内での販売ルートがあまり確立されていないことなどから、区民にはあまり知られていません。

こうした状況などもあり、市内7区中では最も遅い形となりましたが、平成19年度には、「住んでよし・訪れてよし」をキャッチフレーズに、宮前区観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始しています。

このほかに一般論として、地域の宝といえるものに目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などもあると考えられます。

(2) 宮前区に対する内外のイメージ

部会では、「自然豊かな閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある」といったものが、概ね委員が共通して抱いている宮前区のイメージでした。

一般的には、田園都市線沿線を中心に、都心へのアクセスの良さと緑豊かな暮らしを併せ持つ住宅地としての人気が高いほか、特に教育の評価が高く、子どもの教育のために宮前区に引っ越してきたという話も聞かれます。

その一方で、「宮前区ってどんなまち？」と一般区民を対象に聞いたとしても、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと、という感想を持ちました。

平成14年度に行われた「川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート」によれば、「お住まいの区のイメージは？」という設問に対して、「とくになし」と回答した区民の割合が7区で最も高かった(12.1%)という結果が、この委員の感想を裏付けるデータになっていると考えられます。

(3) その他宮前区をめぐる現状

宮前区は、宮前地区と向丘地区とに分かれており、現在は、東名高速道路が概ねその境となっています。川崎市域はかつて武蔵国の一部を構成していましたが、宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っているのではないかと、との意見が委員からは出されました。

このほか、現在雑誌等において紹介される機会が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心となっています。

3 解決すべき課題など

(1) 資源の分類について

課題の抽出や解決策の検討に先立ち、宮前区内の既存の資源の情報の収集を行いました。また、それを広く区民に紹介することを見据え、資源の分類方法等について審議しました。

■ 5つの大分類…自然、歴史文化、産業、活動、まち・施設

資源の分類については、できるだけわかりやすくシンプルであるべきという意見を踏まえ、以下の5つの大分類としました。

自然	緑・緑地・公園、水、生物、植物 など
歴史文化	史跡・遺跡、歴史のある道、伝承・民俗文化、寺社仏閣、ゆかりの人物 など
産業	食べ物、その他産物、農業、工業 など
活動	イベント、市民活動 など
まち・施設	ランドマーク・モニュメント、施設、道、商店 など

また、これらの資源を実際に紹介する際には、その資源のある地域やその資源を楽しむことができる時期などもデータ化し、資源データの検索の方法はできるだけたくさんあった方がよいとの意見もありました。

■ 楽しむ方法…みたい(見/観)・ききたい(聞/聴)、買いたい・食べたい、やってみたい

宮前区の資源を紹介する際に、区民にその資源により親しみを感じてもらうために、「楽しむ方法」という別の観点から資源を分類することとしました。

(2) 「資源」「宝」「顔」の定義について

具体的な課題解決策の審議にあたり、部会で何気なく使われていた地域の「資源」「宝」「顔」という言葉について、しっかり定義することとしました。

宮前区の「資源」…まだ区民が知らない、区民にあまり知られていないものも含む

もっとも広い範囲をさす言葉で、まだ発見されていないものも含まれる。

宮前区の「宝」……区民に知られている、区民に大切にされているもの

資源の中でも、ある一定の地域や範囲の区民に知られているもの。また、区民に大切にされているものが“宝”である

宮前区の「顔」……区外にも知られている、区民の誇り・シンボルになっているもの

宝の中でもさらに、区外にも広く知られており、宮前区の魅力として広く認められているもの、区民の誇りやシンボルになっているものが“顔”である。

例えば、宝物はある地域や人々の間で密かに、門外不出の形で守られている場合も考えられますが、顔になるには、外からもその魅力が明確になっている必要があるものと考えられます。

(3) 「宝」や「顔」があるまちのイメージ

まちの宝や顔があることによって、次のような効果が期待できると考えられます。

【区民一人ひとりの立場で考えた場合】

- ・「宮前区ってどんなまち？」と聞かれた場合、自信を持って、自分の住んでいるまちの特徴や魅力を区外の人に紹介することができる

- ・それぞれが地域に愛着を持っていて、終の棲家とすることも考えている
- ・地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

【地域社会全体で考えた場合】

- ・地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成されている
- ・豊かな地域コミュニティを礎として、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

(4) 解決すべき課題について

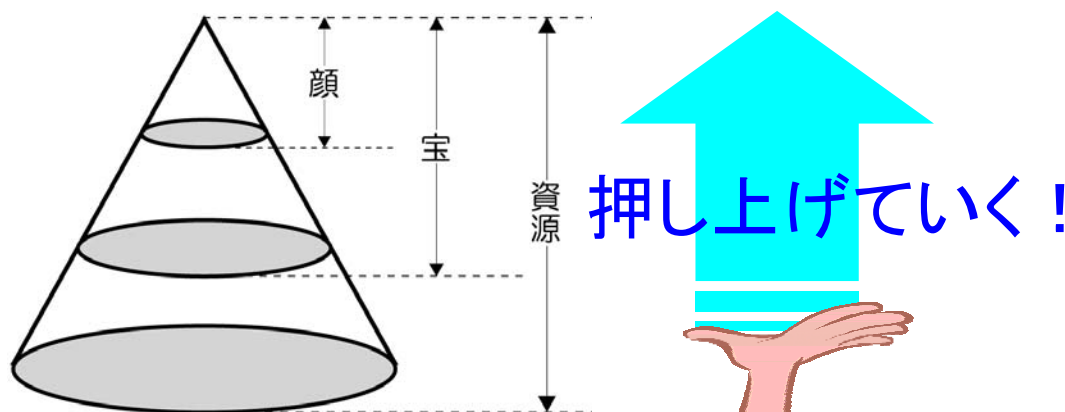
宝や顔があるまちづくりに向けて、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ **課題：区内の資源の共有・押し上げ**

区内の「資源」が「宝」や「顔」となっていくためには、まず区民一人ひとりに資源の存在を知ってもらったうえで、区内全体で共有し、最終的には対外的に発信して区外からも認知してもらう必要があります。

「資源」が「宝」を経て「顔」となるまでのプロセスを図で示すと以下のようになります。共有の度合いは、「資源」が「宝」に、「宝」が「顔」になるほど高まると考えられます。地域の資源を“発見”し、それが“共有”されることで地域の宝になり、さらにそれが広く“情報発信”されることで、地域の顔となっていきます。

部会では、「資源」を「宝」や「顔」に押し上げていくプロセスを具体化し、これに地域単位で多様な世代の住民が関わり楽しみながら参加できるようにしていくことを解決すべき課題として設定しました。



4 地域の宝さがしを通じた地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

● 提案：宮前区のカルタをつくろう！

【趣旨・目的】

- ・ 幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化を目指します。

【実施内容】

■ みやまえカルタを制作します

- ・ 平成 24 年度に区政 30 周年記念を迎えることから、その年を目指し区政 30 周年記念みやまえカルタを制作します。
- ・ その前段として、8 つの中学校区ごとの地区別カルタを地域が主体となって制作します。
- ・ 区政 30 周年記念みやまえカルタは、上記地区別カルタから選抜することとします。
- ・ カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視することとし、より多くの区民が参加できる方法を目指すこととします。

■ みやまえカルタを活用します

- ・ 制作されたみやまえカルタは、地域を知り愛着を深めるツールとして、地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用するものとします。

【実施主体とその役割】

■ みやまえカルタ制作実行委員会の設立

- ・ みやまえカルタ制作実行委員会(以下「実行委員会」といいます。)において、カルタ作りの基本の方針を策定します。
- ・ 実行委員会では、中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作することとします。部会の実際の活動に際しては、実行委員会のメンバーだけでなく、広く地域から参加者を募ることとします。
- ・ 地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整を行います。
- ・ 多くの人に、地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうため、発表会イベントを開催することとし、その企画を本委員会が行います。
- ・ 地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考を行います。

〈実行委員会への参加を呼びかける団体(案)〉

宮前区全町内・自治会連合会	宮前区観光協会
宮前商店街連合会	宮前区文化協会
宮前区老人クラブ連合会	宮前区社会福祉協議会
宮前区民生委員・児童委員協議会	宮前区地域教育会議
宮前区 PTA 協議会	グリーンフォーラム 21 みやまえ
宮前区歴史文化調査委員会	株式会社フューチャーリンクネットワーク
第 2 期区民会議委員(若干名)	
事務局(企画課・地域振興課・こども支援室)	

■ 各小学校での取組

- ・ 総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼します。
- ・ 制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用することとします。
- ・ 各小学校に対しては、実行委員会から講師を派遣したり、地域の資源の紹介などを行ったりします。

【スケジュール】

- ・ みやまえカルタの制作にあたっては、概ね次のスケジュールで実施することが望ましいものとしします。

	取組内容
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の実行委員会を立ち上げ →中学校区ごとの部会を立ち上げ
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち歩き(テーマ別) ・ 読み札募集 ・ 絵札募集 ・ 地区ごとにフォーラム開催 ・ 読み札選考 ・ 絵札選考 ・ カルタ制作 ・ 地区ごとにカルタ大会を開催
平成 24 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ カルタの人気投票(インターネット) ・ 区民祭で各地区のカルタのプレゼンテーションと人気投票 ・ 人気投票の結果を受けて、(仮称)区政 30 周年記念みやまえカルタを制作 ・ 区政 30 周年記念大カルタ大会の開催
<平成 25 年度以降>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のイベントや教育現場での活用

5 会議開催経過

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会では、合計 12 回の部会を開催しました。会議の開催経過及び主な議論内容は次のとおりとなっています。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(5月～7月)

区民会議 平成20年 文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する
全体会 5月23日 宮前区らしさ(=宮前区の顔)を審議テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
6月23日 具体的な審議テーマについて

■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

■具体的な審議テーマについて

・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施
⇒出された意見は、次の項目に分類

- ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
- ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
- ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
- ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
- ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
- ⑥参考になりそうな事例や他地域の話

【配布資料】

・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 今後の審議の進め方について
7月15日 宮前区の宝をさがす目的について
宮前区のイメージについて

■今後の審議のスケジュール・進め方

・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった
(任期2年間を通して審議していく)

■宮前区の宝をさがす目的

・宮前区の宝を探すこと目的(宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの)について意見交換
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物(風土) etc...など

【配布資料】

・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
・議論ペーパー(白紙)
・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議論用メモ
・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート(抜粋)
・宮前区の地域資源一覧

■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特になし」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的(資料3-2参照)

⇒こうした宮前区のイメージ(実態と合っているかどうかは別として)も踏まえながら、今後の議論を進めていく(現在の審議段階:現状と課題の把握)

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(8月～10月)

区民会議 平成20年 7月までの審議状況を報告
全体会 8月6日

第3回部会 平成20年 宮前区の宝・顔に関する現状と取組について
9月22日 宝や顔があるまちのイメージについて

■宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要である

現状について議論する中で、宝物となりうる資源の分類・整理の必要性について議論された

- ・大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良い
- ・これからつくりあげていくもの、すでにあるもの
- ・ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

【配布資料】
・議論ペーパー

■地域の資源はどうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？

- ・宝物になるということ、顔になることの意味は少し違う
- ・宝物は秘伝・秘密の物や潜在的な物もあるが、顔は外から見ても明らかな存在
- ・より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」である
- ・顔はいくつもあってはおかしい。顔というところ度絞り込まれる
- ・宝物を顔に「押し上げていく」のではないか
- ・顔には戦略が入っている

第4回部会 平成20年 課題解決策に向けた進め方について
10月24日 地域の資源について

■資源の性質別の分類

資源の性質別の分類として次の5項目を選定

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 自然 | 風景・緑・水・生物・植物など |
| ② 歴史文化 | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など |
| ③ 暮らし・産業 | 産物・農業・工業など |
| ④ ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など |
| ⑤ まち・施設 | 商店街、ランドマーク、建築物、施設など |

【配布資料】

- ・宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料
- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）

■資源を「楽しむ」という視点での分類

資源の価値を評価する指標として次の3項目を選定

- ① みたい（見・観）・ききたい（聞・聴）
- ② 買いたい・食べたい
- ③ やってみたい

■具体的な課題解決策イメージ

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(11月～1月)

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告
全体会 11月16日

第5回部会 平成20年 地域の資源について
12月16日 具体的な課題解決策について

■宮前区の資源（宝物・顔の候補）の取り扱いについて

- ・区民会議が宝物・顔を決めるわけではなく、今後、宝物・顔を作りあげていくにあたって、区民会議として地域に提示できる「資源」に留めておくもの
- ・現在の資源は、事務局の作成したものに、部会委員の意見が反映されたものなので、もっと広く区民から募ってみる必要がある。

【配布資料】

- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）
- ・議論ペーパー

■具体的な課題解決策について

- ・コミュニティの活性化を目指すことを考えると、地域ごとに宝を発見するプロセスそのものが重要となる。
- ・子どもが参加できるような仕掛けがあるといい。
- ・具体的な課題解決策を検討するにあたり、地域のイベントや各種団体に宝さがしをしてもらってはどうか。

第6回部会 平成21年 具体的な課題解決策について
1月16日 区民会議フォーラムについて

■具体的な課題解決策について

- ・具体的な課題解決策を審議するためのシミュレーションとして、地域のイベントなどの機会や各種団体に宝さがしを行ってもらおう。
- ・この宝さがしは、2～3月に行われるイベント（まちづくり広場ラブみやまえ(2/21)、ディスカバーウォーク(2/22)、文化講演会(2/28)、みやまえ映像コンクール(2/28)）で協力してもらったり、区民会議委員が所属する団体に依頼するなどしてできるだけ年度内に宝を出してもらおうようし、区民会議フォーラムに活かす。
- ・この宝さがしでは、どのような宝が出てくるか、どのような出され方(≒協力度合い)といった点も含めて検証する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧(カテゴリ別・地域別)
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて(案)

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、野川カルタに取り組んでいる地域に参加を依頼することに決定。
- ・分科会では、地域の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合うこととし、この「夢」を踏まえて、今後の審議を深めていくこととした。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(2月～4月)

平成二十年度

第7回部会 平成21年 3月3日 区民会議フォーラムについて
今後の議論の方向性について

■区民会議フォーラム（3月15日開催）について

- ・区民会議フォーラム分科会の検討項目、進行方法、全大会での発表も含めた役割分担について決定。
- ・FMかわさきでのPRについて、永野委員長の出演を決定。

■今後の議論の方向性について

- ・みやまえ映像コンクールについて地域の資源を紹介する手法のひとつとして捉え、区民会議フォーラム会場で映像を流すことを決定。
- ・地域対抗の宝物コンペ、区民の観光大使など、地域の資源や宝物を発掘、共有していくアイデアについて意見交換した。

【配布資料】

- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラム分科会（宝さがし）の進め方について（案）
- ・議論ペーパー
- ・具体的な課題解決策 検討資料

区民会議フォーラム 平成21年 3月15日 平成20年度検討内容の報告

平成二十一年度

第1回部会 平成21年 4月13日 今後のスケジュールと進め方について
具体的な課題解決策について

■今後のスケジュールと進め方について

- ・9月の部会で議論をまとめ、11月の第3回区民会議全体会で、提案内容をオーソライズするスケジュールで、今後の検討を進める。

■具体的な課題解決策について

- ・小学校区～中学校区単位を基本とした地域での資源や宝物の発掘、共有作業を進める。
- ・メタボ対策ウォーキングマップ、眺望ポイントマップ、お花見マップ、昆虫マップ、駅周辺観光マップなど地域レベルでの様々なテーママップづくりに地域やそれぞれの活動団体が特色を活かしながら取り組む。
- ・野川カルタや映像コンクールなどの取組がより広く区民に知られ、地域の魅力を紹介する活動として区域全体に広がるようにする。
- ・それぞれの取組に更なる演出や”お楽しみ”を加え、様々な背景を持つ区民や、多世代の区民が参加できるように工夫する。
- ・できる地域からモデル的に取組を実施し、手法の検証、検討等行いながら、段階的に取組を広げていく。

【配布資料】

- ・今後のスケジュールと進め方について（案）
- ・宮前区の宝さがしアンケートのまとめ
- ・議論ペーパー

委員参与との意見交換会 平成21年 4月20日 中間報告等に関する参与との意見交換

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(5月～8月)

区民会議
全体会

平成21年
5月29日

部会検討経過の報告

第2回部会

平成21年
6月25日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

マップづくりの手法や形式

- ・グリーンフォーラム21みやまえや平瀬川流域まちづくり協議会のマップづくりの実例を参考にしたマップづくり
- ・レイヤー形式の導入による多様な地図の組み合わせ

かるたづくりの手法や形式

- ・群馬県人なら誰でもしているという「上毛かるた」の事例の紹介
- その他・全体の進め方など
- ・既存の活動をベースに地域を巻き込んでいく
- ・メディアの活用や宝自慢コンペについての意見交換 など

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧
- ・他地域における先進事例について（上毛かるた）

第3回部会

平成21年
7月9日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

- ・区政30周年（H24）に向け、8地区（中学校区）別の資源カルタの制作に取り組む。
- ・地区毎に市民活動団体や地域の人材が核となる、実行委員会を立ち上げる。
- ・教育現場、特に小学校の総合学習の場で活用してもらえるかるたを目指し、小学生をメインターゲットとする。
- ・区政30周年の記念事業の一環として、8地区別の資源かるたから選抜された宮前区の宝物かるた（仮称）の制作に取り組む。
- ・完成したカルタの活用を通して、宮前区の資源を宝に、宝を顔に押し上げていく。

※今後の検討課題

取組のスケジュール、担い手、趣旨説明のチラシ作成など取組計画の具体化

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・具体的な課題解決策の検討に向けての整理
- ・宮前区の資源一覧
- ・平瀬川まちづくり協議会のマップづくり関連資料（松井委員提供）

区民会議
全体会

平成21年
8月4日

部会検討経過の報告

第4回部会

平成21年
9月7日

具体的な課題解決策について

■具体的な課題解決策について

カルタづくりの手法や形式

- ・推進組織としてみやまえカルタ製作実行委員会を区内関係諸団体に呼びかけて立ち上げる。部会委員も参加する。
- ・小学校の総合的な学習の時間、「まち探検」の中にカルタづくりを組み込んでいただけるように働きかける。
- ・野川カルタの手法や形式を基本形に、できる地域から地域版のカルタを作成していく。学校教育の場で継続的に使われていくようなカルタを目指す。
- ・区民会議フォーラムの場などを活用して、全区的に先行地域の活動成果や作品を発表、情報交換する場を設けていく。
- ・区政30周年事業として、地域版からの選抜による全区版カルタ作成を進める。イベントなどを通じて、機運を盛り上げていく。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・提案模式図
- ・宮前区の資源一覧

第5回部会

平成21年
10月16日

部会報告書（案）について

■具体的な課題解決策について

- ・カルタ製作の過程がコミュニティづくりになることを強調したい。
- ・絵札については、地区別カルタの段階では闇地域の創意工夫を活かしたものとし、区全体のカルタを作成する際には統一感のあるイラストとする。
- ・出来上がったカルタは簡易版があると普及しやすいのでは。
- ・製作実行委員会の取り組みをスムーズに進めるため、提案内容が固まった後に準備会を発足し準備を進めてもよい。
- ・年度が変わる前に動き出し、各地域に説明に行く際の資料やマニュアルなどの検討はどんどん進めたい。

【配布資料】

- ・部会報告書（案）

区民会議
全体会

平成21年
11月13日

宮前区区民会議第2期 報告書（案）の検討

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用して新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんなで宝物を探してもらえよう動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくがない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

現状の資源の特徴を把握

具体的な課題解決策

◆地域で資源を発掘し、宝・顔にまで押し上げる

●提案：宮前区のカルタをつくろう！

【趣旨・目的】

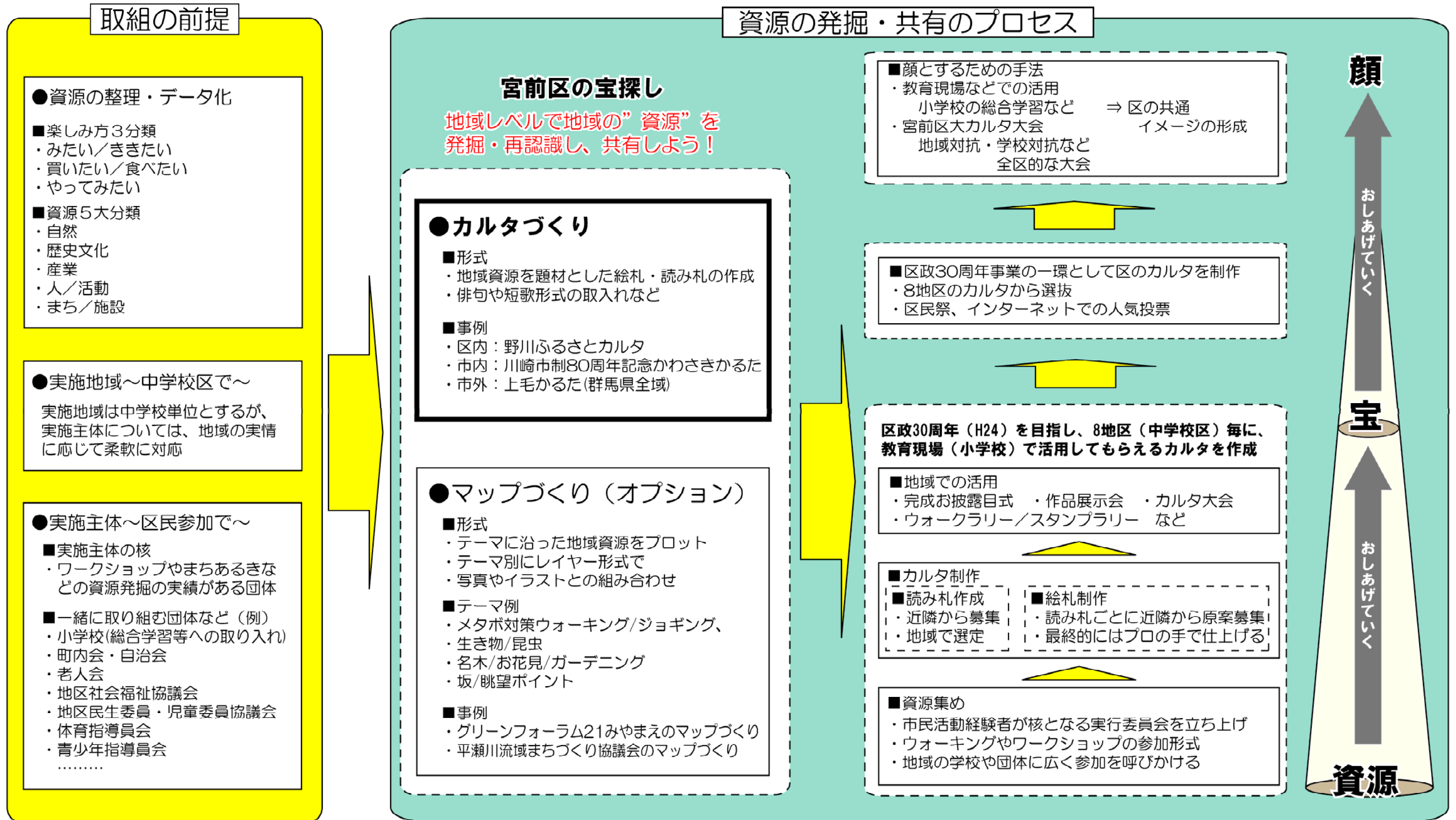
幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化を目指す。

【実施内容】

- みやまえカルタの制作
 - ・平成24年度の区政30周年に向け、「野川ふるさとかるた」をモデルに区政30周年記念みやまえカルタと8つの中学校区ごとの地区別カルタを2年かけて地域主体により制作
 - ・区政30周年記念みやまえカルタは、地区別カルタから選抜して制作
 - ・カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視
- みやまえカルタの活用
 - ・地域を知り愛着を深めるツールとして、制作されたみやまえカルタの地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用

【実施主体とその役割】

- みやまえカルタ制作実行委員会の設立
 - ・カルタ作りの基本的方針を策定
 - ・中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作
 - ・地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整
 - ・地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうための発表会イベントを開催
 - ・地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考
- 各小学校での取組
 - ・総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼
 - ・制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用
 - ・各小学校に対しては、実行委員会から講師の派遣や地域資源を紹介



今後の検討課題：取組の具体スケジュール、担い手、地域や諸団体への呼びかけのための資料作成など

宮前区の資源一覧(H21. 2. 12現在)

【地域別】

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい
区内全域	自然	緑・緑地・公園 植物	宮前区の里山	○		
			宮前区の花・コスモス	○		
			宮前区の木・サクラ	○		
	歴史文化	伝承・民俗文化	宮前音頭	○		○
			武蔵野音頭	○		○
	産業	食べ物	宮前のブロッコリー		○	
			宮前のトマト		○	
			宮前のダイコン		○	
	まち・施設	農業 道 その他	盛んな都市農業			○
			名前のついた坂 教育水準が高いと言われている	○		
野川	自然	緑・緑地・公園 水 植物	野川十三坊台特別緑地保全地区	○		
			野川ふれあいの森	○		
			南野川ふれあいの森	○		
			矢上川・有馬川水系	○		
			影向寺のイチヨウ、サルスベリ	○		
			影向寺の乳イチヨウ	○		
			野川梅の里	○		
			野川のコスモス畑	○		
			野川神社境内遺跡	○		
			十三菩提遺跡	○		
	歴史文化	史跡・遺跡	野川神社境内遺跡	○		
			十三菩提遺跡	○		
			野川囃子			○
		伝承・民俗文化 寺社仏閣	和田八幡宮	○		
			西蔵寺	○		
			影向寺	○		
	産業	食べ物	野川神明社	○		
			宮前メロン		○	
			お好み甘納豆		○	
			天然酵母のパン屋		○	
まち・施設	商店	天然酵母のパン屋		○		
東有馬	自然	水 植物	矢上川・有馬川水系	○		
			下有馬不動尊のヤブツバキ	○		
	歴史文化	寺社仏閣 まち・施設	長善寺	○		
			有馬療養温泉旅館		○	
有馬	自然	水 植物	矢上川・有馬川水系	○		
			有馬椿の里	○		
			有馬植木の里	○		
			有馬梅林公園	○		
			有馬つつじ公園	○		
			ケヤキ	○		
			ケヤキ	○		
	歴史文化	歴史のある道 伝承・民俗文化 寺社仏閣	大山街道	○		○
			有馬囃子			○
			有馬大正踊り八木節	○		○
	まち・施設	その他 商店	有馬神明神社	○		
			福王寺	○		
			有馬不動堂	○		
			川崎考古学研究所	○		
鷺沼	自然 歴史文化 まち・施設	緑・緑地・公園 歴史のある道 ランドマーク・モニュメント 施設	カッパーク鷺沼	○		
			大山街道	○		○
			(駅前シンボル)	○		
			フロンタウン鷺沼			○
土橋	自然 歴史文化 まち・施設	緑・緑地・公園 伝承・民俗文化 寺社仏閣 施設	カッパーク鷺沼	○		
			土橋万作踊り	○		○
			護符・オオカミ伝説	○		
			正福寺	○		
まち・施設	施設	土橋神社	○			
		東名川崎IC	○			

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい
宮前平	歴史文化	歴史のある道 寺社仏閣	大山街道	○		○
			八幡神社	○		
小台	まち・施設	施設	天然温泉 湯けむりの庄		○	
犬蔵	自然	緑・緑地・公園 植物	カッパーク鷺沼	○		
			イヌツゲ・イロハカエデ	○		
水沢	歴史文化	歴史のある道 食べ物	大山街道	○		○
			ふる舞いそば		○	
潮見台	自然	水 生物	湧水	○	○	
			ホタル	○		○
菅生ヶ丘	歴史文化	寺社仏閣	犬蔵天神社	○		
菅生	自然	緑・緑地・公園 水 植物	菅生緑地	○		
			平瀬川水系	○		
五所塚	歴史文化	史跡・遺跡	平瀬川水系	○		
			八雲神社(天王社)	○		
平	自然	緑・緑地・公園 水 植物	生田緑地	○		
			平瀬川水系	○		
南平台	産業	食べ物	イトヒバ	○		
			鎌倉古道	○		○
初山	歴史文化	伝承・民俗文化 寺社仏閣	初山の獅子舞	○		
			平瀬川の歌	○		○
神木本町	産業	食べ物	秋月院	○		
			長安寺	○		
神木本町	まち・施設	ランドマーク・モニュメント	菅生神社	○		
			蔵敷交差点モニュメント	○		
五所塚	自然	緑・緑地・公園	蔵敷交差点モニュメント	○		
平	歴史文化	史跡・遺跡	生田緑地	○		
			権現台遺跡	○		
南平台	産業	食べ物	生田緑地	○		
			平瀬川水系	○		
初山	自然	緑・緑地・公園 水 生物	白幡八幡大神のクスノキ	○		
			平中学校の保存樹林	○		
神木本町	歴史文化	伝承・民俗文化 寺社仏閣	ケヤキ	○		
			平瀬川の歌	○		○
神木本町	産業	食べ物	平瀬川の歌	○		○
			平瀬川	○		○
南平台	産業	食べ物	白旗八幡大神の禰宜舞	○		
			白幡八幡大神	○		
初山	歴史文化	伝承・民俗文化 寺社仏閣	東泉寺	○		
			わがままいちご		○	
神木本町	産業	食べ物	唐辛子エッセンス		○	
			ハーブビネガー		○	
神木本町	自然	緑・緑地・公園 水 植物	カッププディング		○	
神木本町	歴史文化	史跡・遺跡 伝承・民俗文化 寺社仏閣	生田緑地	○		
			湧水	○	○	
神木本町	産業	食べ物	ホタル	○		○
			初山の獅子舞	○		
神木本町	自然	緑・緑地・公園 水 植物	本遠寺	○		
神木本町	歴史文化	史跡・遺跡 伝承・民俗文化 寺社仏閣	東高根森林公園	○		
			平瀬川水系	○		
神木本町	産業	食べ物	東高根のシラカシ林	○		
			等覚院のツツジ	○		
神木本町	歴史文化	史跡・遺跡 伝承・民俗文化 寺社仏閣	東高根遺跡	○		
			平瀬川の歌	○		○
神木本町	産業	食べ物	長尾寺	○		
			神木天満宮	○		
神木本町	自然	緑・緑地・公園 水 植物	神木山等覚院	○		
			神木とろ〜りプリン		○	

町名	大分類	中分類	資源名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい
宮崎	自然	植物	NEC跡地の街路樹など	○		
	歴史文化	歴史のある道	大山街道	○		○
	まち・施設	施設	電車とバスの博物館	○		
馬絹	自然	植物	泉福寺のイチョウ・サルスベリ	○		
	歴史文化	史跡・遺跡 寺社仏閣	馬絹古墳	○		
			泉福寺	○		
			馬絹神社	○		
			慈照寺	○		
			浄照寺	○		
	産業	食べ物	馬絹の小菊		○	
		馬絹の花桃		○		

【分野別】

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・ききたい	買いたい・食べたい	やってみたい		
自然	緑・緑地・公園	宮前区の里山	区内全域	○				
		南野川ふれあいの森	野川	○				
		野川ふれあいの森	野川	○				
		野川十三坊台特別緑地保全地区	野川	○				
		カッパーク鷺沼	鷺沼	○				
			土橋	○				
			小台	○				
		菅生緑地	水沢	○				
		生田緑地	菅生	○				
			五所塚	○				
			平	○				
			初山	○				
			東高根森林公園	神木本町	○			
		水	矢上川・有馬川水系	野川	野川	○		
				東有馬	有馬	○		
				有馬	○			
			湧水	犬蔵	○	○		
			平瀬川水系	水沢	○			
				菅生ヶ丘	○			
				菅生	○			
			平	○				
	湧水		初山	○	○			
	平瀬川水系		神木本町	○				
	生物		ホタル	犬蔵	○		○	
		初山		○		○		
	植物		宮前区の花・コスモス	区内全域	○			
			宮前区の木・サクラ	区内全域	○			
			影向寺の乳イチョウ	野川	○			
			影向寺のイチョウ、サルスベリ	野川	○			
			野川梅の里	野川	○			
			野川のコスモス畑	野川	○			
			下有馬不動尊のヤブツバキ	東有馬	○			
			有馬植木の里	有馬	○			
			有馬椿の里	有馬	○			
			有馬梅林公園	有馬	○			
			有馬つつじ公園	有馬	○			
			ケヤキ	有馬	○			
			イヌツゲ・イロハカエデ	小台	○			
			イトヒバ	菅生	○			
			平中学校の保存樹林	平	○			
			ケヤキ	平	○			
白幡八幡大神のクスノキ			平	○				
等覚院のツツジ			神木本町	○				
東高根のシラカシ林			神木本町	○				
NEC跡地の街路樹など			宮崎	○				
泉福寺のイチョウ・サルスベリ	馬絹	○						

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・き きたい	買いたい・ 食べたい	やって みたい	
歴史文化	史跡・遺跡	野川神社境内遺跡	野川	○			
		十三菩提遺跡	野川	○			
		潮見台遺跡	潮見台	○			
		権現台遺跡	五所塚	○			
		東高根遺跡	神木本町	○			
		馬絹古墳	馬絹	○			
	歴史のある道	大山街道	有馬	○		○	
			鷺沼	○		○	
			宮前平	○		○	
			小台	○		○	
		鎌倉古道	菅生	○		○	
		大山街道	宮崎	○		○	
	伝承・民俗文化	宮前音頭	区内全域	○		○	
		武蔵野音頭	区内全域	○		○	
		野川囃子	野川			○	
		有馬大正踊り八木節	有馬	○		○	
		有馬囃子	有馬			○	
		護符・オオカミ伝説	土橋	○			
		土橋万作踊り	土橋	○		○	
		平瀬川の歌	水沢	○		○	
		初山の獅子舞	菅生	○			
		平瀬川の歌	菅生	○		○	
			平	○		○	
		白旗八幡大神の禰宜舞	平	○		○	
		平囃子	平			○	
		初山の獅子舞	初山	○			
		平瀬川の歌	神木本町	○		○	
		寺社仏閣	野川神明社	野川	○		
			影向寺	野川	○		
			和田八幡宮	野川	○		
			西蔵寺	野川	○		
	長善寺		東有馬	○			
	有馬不動堂		有馬	○			
	有馬神明神社		有馬	○			
	福王寺		有馬	○			
	土橋神社		土橋	○			
	正福寺		土橋	○			
	八幡神社		宮前平	○			
	犬蔵天神社		犬蔵	○			
	如意院		水沢	○			
	八雲神社(天王社)		菅生ヶ丘	○			
	菅生神社		菅生	○			
	秋月院		菅生	○			
	長安寺		菅生	○			
	白幡八幡大神		平	○			
	東泉寺		平	○			
	本遠寺		初山	○			
神木天満宮	神木本町		○				
長尾寺	神木本町		○				
神木山等覚院	神木本町		○				
泉福寺	馬絹		○				
浄照寺	馬絹		○				
慈照寺	馬絹		○				
馬絹神社	馬絹		○				
その他	川崎考古学研究所		有馬	○			

大分類	中分類	資源名	町名	みたい・き きたい	買いたい・ 食べたい	やって みたい
産業	食べ物	宮前のブロッコリー	区内全域		○	
		宮前のダイコン	区内全域		○	
		宮前のトマト	区内全域		○	
		宮前メロン	野川		○	
		お好み甘納豆	野川		○	
		ふる舞いそば	小台		○	
		産みたて卵	水沢		○	
		唐辛子エッセンス	平		○	
		ハーブビネガー	平		○	
		わがままいちご	平		○	
		カップブディング	南平台		○	
		神木とろ〜りプリン	神木本町		○	
		馬絹の小菊	馬絹		○	
		馬絹の花桃	馬絹		○	
農業	盛んな都市農業	区内全域			○	
まち・施設	ランドマーク・モニュメント	(駅前シンボル)	鷺沼	○		
		蔵敷交差点モニュメント	菅生	○		
	施設	有馬療養温泉旅館	東有馬		○	
		鷺沼ボウル	鷺沼			○
		フロンタウン鷺沼	鷺沼			○
		東名川崎IC	土橋	○		
	天然温泉 湯けむりの庄	宮前平		○		
	川崎市中央卸売市場北部市場	水沢	○	○		
	電車とバスの博物館	宮崎	○			
	道	名前のついた坂	区内全域	○		
商店	天然酵母のパン屋	野川		○		
	ペット業界のパイオニア店舗	有馬		○		
その他	教育水準が高いと言われている	区内全域				

平成 21 年度宮前区区民会議フォーラムの開催について(案)

1 趣旨

- (1) より多くの区民に区民会議の意義・役割を知ってもらう
- (2) 参加した区民と共に、第 2 期の提案内容の具体的な進め方について考える
(区民とともに開く拡大区民会議のイメージ)
- (3) (1)・(2)によって、実際に一緒に取り組む担い手を増やす
- (4) 第 3 期委員就任予定者との情報共有(取組経過・地域課題・運営上の課題等)

※ 参加者には一般区民のほか、第 3 期委員就任予定者にも参加を依頼する

2 日程・会場

日程：3 月 27 日(土)午後

会場：区役所大会議室

3 内容

(1) 第 2 期宮前区区民会議の総括

- ・ 区民会議制度全般について
- ・ 審議経過について
- ・ 運営上の課題について

(2) 第 2 期宮前区区民会議の報告内容について

ア 公園・地域づくり部会

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

※ 部会長からの報告ののち、分科会形式で実際の取組手法等について議論・発表

(3) 第 3 期に向けて

- ・ 運営上の課題を踏まえ、どのような方向で取り組んでいくか
- ・ 審議対象とするような地域の課題にはどのようなものがあるか

※ 分科会形式でワークショップにより議論・発表

4 過去の実施内容(参考)

第 1 期		第 2 期
平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民会議制度について ・ 宮前区区民会議の報告内容について ・ 宮前区区民会議の報告に対する区の取組について ・ 来場者と委員とのディスカッション <p>※ シニア世代向け講演会を同時開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宮前区区民会議の報告内容について ・ 区民会議からの提案に対する区役所の考え方 ・ 第 1 期区民会議の総括報告 ・ 来場者と委員とのディスカッションディスカッション <p>※ 防災講演会を同時開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 20 年度の検討状況報告 ・ 地域の事例紹介 ・ 2 つのテーマによる分科

1 安全で快適に暮らすまちづくり

◎:新規事業、○:拡充事業、●:事業移行

(1)	○	安全安心まちづくり推進事業	「自分たちの街は自分たちで守る」という考え方を基本に、「防犯」「交通安全」「防災」の各分野において自助、公助活動をサポートし、安全安心なまちづくりへ向けた区民活動を推進する。特にあいさつ運動、落書き消しを推進していく	地域振興課
(2)		区境・市境を越えた安全・安心まちづくり推進事業	区境・市境において区民が安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するために、高津区、青葉区、都築区などと情報交換を行うとともに、地域防犯パトロールなどを支援する	地域振興課
(3)		子ども安全・安心見守り事業 (区民会議課題)	登下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全安心協議会の運営のほか、地域安全マップの作成、情報共有を図るため通信を発行する	こども支援室
(4)	○	防災意識普及啓発事業 (区民会議課題)	大規模災害に備え区民の防災意識の向上を図るために、防災フェアの開催、防災ニュースの発行を行うほか、防災推進員養成研修を年2回開催する	地域振興課

2 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

(1)		高齢者健康づくり支援事業 (区民会議課題)	介護予防、健康増進などのため、地域住民が主体となった体操グループなどを支援するとともに、宮前区オリジナル体操を普及するために印刷物を作成する	地域保健福祉課
(2)	◎	宮前区食育推進事業	健全な食生活を実践し健康増進を図るため、区内の食育の取り組みを紹介する冊子を作成するほか、食育フォーラムを開催する	地域保健福祉課

3 人を育て心を育むまちづくり

(1)	●	子育て情報発信事業 (区民会議課題)	子育て情報誌の発行やホームページの更新、乳幼児のいる転入世帯等に対する子育て支援に関わる情報を一体的に提供する	こども支援室
(2)		親と子の子育て応援セミナー事業 (区民会議課題)	親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、セミナーを開催する	こども支援室
(3)		子ども支援ネットワーク事業 (区民会議課題)	子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、関係機関・団体等との会議を開催するほか、事例検討会、虐待予防のための講演会を開催する	こども支援室
(4)	○	こども包括支援事業	「こどもサポート南野川」でのいじめ及び不登校の子どもの居場所づくり、家庭相談員、教育相談員による出前相談のほか、子育てサロンの開催などの育児支援を行う。また、フリースペース、各種講座を開催する	こども支援室
(5)		シニアライフ支援事業 (区民会議課題)	シニア世代の人生設計や生きがいづくりをサポートするとともに、その活力を地域で活かすために、相談窓口を開設し、講演会や出前講座などを実施する	企画課

4 環境を守り自然と調和したまちづくり

(1)		東名川崎インターチェンジ周辺整備推進事業	川崎のイメージアップにつなげるために、地元で立ち上げた団体と協働し、東名川崎インターチェンジ周辺を川崎の北の玄関口としふさわしい景観となるよう整備する	地域振興課
(2)		宮前区役所屋上緑化事業	地球温暖化やヒートアイランド現象への対策とともに、環境問題への意識の高揚を図るため、区役所庁舎の屋上に薄層コケ緑化製品を施工する	企画課

(3)	◎	公園の魅力アピール事業 (区民会議課題)	公園の利用促進と地域コミュニティの活性化のため、地域の申出に応じて公園に掲示板を設置するほか、公園で行われるイベント等の情報発信をする	企画課
-----	---	-------------------------	---	-----

5 個性と魅力が輝くまちづくり

(1)	○	みやまえロビーコンサート	区民に親しまれる区役所をめざして、を区役所2階ロビーで月1回、質の高い様々なジャンルの音楽を提供するコンサートを行うほか、200回記念コンサートを開催する	地域振興課
(2)		響け！みやまえ太鼓ミーティング	地域の文化・伝統を再認識し、個性豊かで魅力ある文化の創造をめざして、区内に数多く残る民俗芸能や和太鼓の演奏を行う	地域振興課
(3)		みやまえ新春コンサート	区内を中心に音楽活動をしている個人や団体の自主的な参加によるコンサートを開催する	地域振興課
(4)		しあわせを呼ぶコンサート	音楽を通じ、障害者と健常者の相互理解と交流を深めながら区民の心のバリアフリーをめざすとともに、障害者の社会参加と自立を促すため、コンサートを実施する	地域振興課
(5)		地域の魅力発信事業	地元に対する愛着の醸成や来訪者の増加を図り地域の活性化を図るため、地域を知ってもらうイベントの実施や地域情報の収集及び地域の魅力発信を行う	地域振興課
(6)	○	みやまえ映像コンクール支援事業	中学生が地域を知り、親しむ機会を確保しつつ、「映像のまち かわさき」を推進するため、市民活動団体が中学生を対象に実施している映像コンクールを支援する。また、シニア向け講座を開催する	企画課
(7)		友好都市交流事業	宮前区観光協会と協働し、友好都市長野県佐久市との物産・観光交流や市民間交流などの交流事業を行う	地域振興課
(8)	◎	カッパーク鷺沼サイン看板整備事業	カッパーク鷺沼が区のシンボルゾーンとして交流の場になることを目指し、全体エリアを示した図や成り立ちを解説したサイン看板を設置する	企画課
(9)	◎	みやまえカルタ制作事業 (区民会議課題)	地域への愛着を育み、地域コミュニティの活性化を図るため、地域の「資源」や「宝」を題材にしたカルタを制作する	企画課

6 参加と協働による市民自治のまちづくり

(1)		まちづくり推進事業	魅力あるまちづくりを推進するため、中間支援組織をめざしているまちづくり協議会と協働し、地域の市民活動団体への支援等に取り組む	地域振興課
(2)		まちづくり支援事業	中間支援組織をめざすまちづくり協議会の効率的かつ効果的な運営と区民のまちづくり活動に対する支援を行う	地域振興課
(3)		みやまえふれあいフェスタ	地域や世代間の交流を図り、地域コミュニティの創造や育成のきっかけとするために、ふれあいを重視した体験型企画及び出店を中心とした催しを実施する	地域振興課
(4)		みやまえスポーツふえすていばる	スポーツを通じた区民同士の交流と健康増進を図るために、各種スポーツ事業を実施するとともに、地域スポーツの活性化を図る	地域振興課

(7)	○	地域情報発信事業 (区民会議課題)	世代間・地域間交流の活性化のために、地域のスポーツや祭りなどの情報をイベントカレンダーや地域ポータルサイトで広く発信するほか、町内会・自治会への回覧物を毎月1回一括して送付することで、地域情報の発信を効果的・効率的に行う	企画課
(8)		地域の課題解決を図る事業提案制度	地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議から提案された課題の解決等に取り組む団体等を広く募集し、委託、事業補助などの手法で事業を実施する	企画課
(9)		宮前区役所事業概要発行事業	区民に対して区の施策や情報をわかりやすく発信し、情報共有を図るために、区役所の事業や予算の概要をまとめた冊子を発行する	企画課
(10)		宮前ガイドマップ作成事業	ガイドマップを修正し発行する(毎年度増刷・情報更新)	地域振興課
(11)		宮前区役所BGM配信事業	庁舎の雰囲気をもくし、来庁者に親しまれる区役所をめざし、庁舎内にBGMを流す	総務課
(12)		バリアフリー推進事業	来庁者が安心して利用できる庁舎整備の一環として、市民広場南側の階段部分をノンスリップ化するとともに、階段であることが明確に分かるような塗装を行う	総務課
(13)	●	窓口サービス向上事業	使いやすく快適な区役所を目指し、区民課の待合スペースの環境整備、保険年金課の番号札発券機の整備を行う	区民課 保険年金課
(14)	●	市民活動支援拠点のネットワーク事業	市民活動の活性化を図るため、市民活動支援拠点のネットワーク化に必要な物品を整備する	地域振興課 向丘出張所

7 その他

(1)		緊急対応費	緊急的な事業に対応するための経費	
(2)		管理運営費	協働推進事業の事務経費等	

☆21年度終了事業

(1)		ねずみ、昆虫等駆除対策支援事業	感染症予防及び健康で快適な居住環境の確保を支援する観点から、区民がねずみ、不快害虫等の駆除、防除に心がけられるよう、リーフレットを作成し、知識の普及、啓発、支援を行う	衛生課
(2)		親子ふれあい事業	思春期の子を持つ親を対象に子どもとのより良い関係づくりのための講演会を開催し、地域で親子がふれあう企画を増やせるイベントを実施する	こども支援室
(3)		宮前歴史ガイド作成事業	区内の市民活動団体と協働で、まちの歴史や区内に残る豊富な歴史的な地域資源などを紹介する歴史ガイドを作成する	地域振興課
(4)		カッパーク鷺沼地域交流・活性化推進事業	平成18年度にオープンした「カッパーク鷺沼」が、区のシンボルゾーンとして子どもから大人まで、様々な世代、立場の人が交流できる場所になることを目指し、カッパーク鷺沼内にある施設が参加したイベントを開催する	企画課

平成22年度宮前区・区の課題解決事業(案)

1	川崎の北の玄関口周辺再構築事業	景観の向上や市のイメージアップを図る花壇等の再整備、生田緑地など北部地域の魅力を発信する統一的な誘導サインの設置
2	商店街と連携した地域コミュニティ促進事業	商店街における地域のたまり場として、地域交流スペース及び各種講座の実施
3	冒険あそび場活動支援事業	次世代育成の場の確保や地域コミュニティの活性化を目指し、冒険あそび場の実施に向け、検討委員会を設置